

国語

1年	現代の国語
1年	言語文化
2年	論理国語
2年	古典探究
2年	国語演習
3年	論理国語
2年	古典探究
2年	国語表現
2年	国語演習
3年	国語探究(文化)
3年	国語探究(文学・言語)

2026年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
1年生 特進コースI&Sクラス		国語	現代の国語	必修	2単位	植木智
教科書	数研出版「改訂版 高等学校 現代の国語」		副教材	浜島書店「論読現代文1」啓隆社「新国語総合ガイド 六訂版」いっずな「入試頻出漢字＋現代文重要語句TOP2500」		
授業のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解する。 ・実社会で必要となる語句の量を増やし、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報との関係について理解する。 					
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・難関大学、日東駒専合格を見据えた内容を展開していく。 ・中学校で習得した内容にも適宜触れながら学んでいく。 ・宿題を適宜課す。取り組みがないと授業に支障が出るため、必ず行うこと。 					
評価方法	定期考査や授業内テストを中心とし、小テストや提出物を踏まえて総合的に評価をする。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	期末	評論「論理的ということ」	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の構成や展開を確かめ、筆者の主張を的確に読み取る。 ・日本と西洋の比較を通して文化の違いを知り、両者の特徴を考える。 ・言語をもとにして社会の特徴を把握し、私たち人間が見習うべきことについて考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ※文章の読み方など中学校の復習も行う。 (文章トレーニング1～5) 		
		評論「私の中にある生命の歴史」				
評論「水の東西」						
評論「倫理と道徳」						
※適宜 漢字小スト(通年)						
※適宜 副教材による演習(通年)						
2 学 期	中間	評論「『大人』になるための条件」	<ul style="list-style-type: none"> ・生物学的ではなくて、人間として「大人になる」とはどのようなことか理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な昔話に対する一般的な理解と対比させて、筆者の主張を理解する。 ・筆者の主張と具体例から、「レトリック」の意義を理解する。 ・ことばの構造やしくみの違いと、認識される対象の変化について読み取る。 		
	期末	評論「『わらしべ長者』の経済学」	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な昔話に対する一般的な理解と対比させて、筆者の主張を理解する。 			
評論「コインは円形か」		<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の主張と具体例から、「レトリック」の意義を理解する。 				
評論「ものとことば」	<ul style="list-style-type: none"> ・ことばの構造やしくみの違いと、認識される対象の変化について読み取る。 					
3 学 期	学年末	評論「人と自然の共生とはどういうことか」	<ul style="list-style-type: none"> ・「文化的共生」という人と自然の関係について理解する。 また、身近な自然について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「他者」と「他人」の違いについて知る。 ・「理解する」ことについて、筆者の主張をまとめる。 		
		評論「他者を理解するということ」	<ul style="list-style-type: none"> ・「他者」と「他人」の違いについて知る。 			
		※適宜 iPadを活用(通年)				

2026年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
1年生 特進コースI&Sクラス		国語	言語文化	必修	2単位	植木智
教科書	数研出版「改訂版 新編 言語文化」		副教材	いっずな書店「key&pointみるみる覚える古文単語300+敬語30」数研出版「読解をたいせつにする体系古典文法」及び「準拠ノート」		
授業のねらい	・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解する。・日本の言語文化の特質や、日本の文化と外国の文化との関係について理解する。・古典(古文・漢文)に親しみ、歴史的文化的背景を学び、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。					
学習上の留意点	・難関大学、日東駒専合格を見据えた内容を展開していく。 ・中学校で習得した内容にも適宜触れながら学んでいく。 ・宿題を適宜課す。取り組みがないと授業に支障が出るため、必ず行うこと。					
評価方法	定期考査や授業内テストを中心とし、小テストや提出物を踏まえて総合的に評価をする。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	期末	有名作品の冒頭 古文「児のそら寝」 古典文法(動詞) 小説「羅生門」 古典文法(形容詞、形容動詞) 古文「ある人、弓射ることを習ふに」 ※適宜 単語小テスト(通年) ※適宜 模試対策(通年)		・音読を通じて古文に慣れ、登場人物の行動や心情を理解する。※歴史的仮名遣いなど中学校の復習も行う。 ・作品に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して味わい、主題について考える。 ・随筆を学び、ものの見方や感じ方・考え方を豊かにする。		
		2 学 期	中間	古文「芥川」「筒井筒」 古今和歌集、新古今和歌集 古典文法(助動詞)		・主語を正確に把握し、現代語訳をして内容を理解する。 ・和歌の果たす役割や効果について理解し、物語を味わう。 ・助動詞の活用や意味を理解する。
3 学 期	学年末			小説「葉桜と魔笛」 詩歌「六月」「サーカス」 短歌、俳句 漢文「訓読のきまり」「格言」		・物語の内容を理解し、題名に込められた意味を考える。 ・韻文を味わい、表現の特徴や季語を理解する。 ・漢文を読むための決まりを理解し、書き下し文を作成する。
		漢文「助長」「漁夫の利」 「虎の威を借る狐」 漢詩 古文「木曾の最期」 ※適宜 iPadを活用(通年)		・書き下し文や現代語訳を行い、内容を理解する。 ・漢詩の決まりや特徴を理解し、作品を味わう。 ・和漢混交文や音便が多用された文章になれ、内容を理解する。		

2026年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
1年生 進学コースAクラス		国語	現代の国語	必修	2単位	鬼嶋知見 久次宏太郎
教科書	数研出版「改訂版 高等学校 現代の国語」		副教材	啓隆社「新国語総合ガイド 六訂版」いっすな書店「意味で覚えて漢字を知る 漢トレ漢字検定⑤級～②級」		
授業のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・実社会で必要となる語句の量を増やし、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報との関係について理解する。 					
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校で習得した内容にも適宜触れながら学んでいく。 ・予習3:復習7の割合で家庭学習に取り組むこと。予習は語彙学習を中心に行うこと。 ・宿題を適宜課す。取り組みがないと授業に支障が出るため、必ず行うこと。 					
評価方法	定期考査や授業内テストを中心とし、小テストや提出物を踏まえて総合的に評価をする。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	期末	「風が通るとき」		・要旨を押さえ、筆者の主張を的確に読み取る。		
		「水の東西」		・日本と西洋の比較を通して文化の違いを知り、両者の特徴を考える。		
		「『大人』になるための条件」 ※適宜 漢字小スト(通年) ※適宜、表現の実践を行う(通年)		・生物学的ではなくて、人間として「大人になる」とは どういうことか理解する。 ※文章の読み方など中学校の復習も行う。		
2 学 期	中間	「異文化を理解する」とは 「論理的ということ」		・一般的な理解と対比させて、筆者の主張を理解する。 ・文章の構成や展開を確かめ、筆者の主張を的確に読み取る。		
	期末	「人と自然の共生とはどういうことか」 小説『羅生門』		・「文化的共生」という人と自然の関係について理解する。 身近な自然について考える。 作品を味わう。		
3 学 期	学年末	「羅生門」の最後の一文 評論「他者を理解するということ」 ※適宜 iPadを活用(通年)		・批評文について理解し、言語活動につなげる。 ・「他者」と「他人」の違いについて知る。 ・「理解する」ことについて、筆者の主張をまとめる。		

2026年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
1年生 進学コースAクラス		国語	言語文化	必修	2単位	此木淳一 木下晴稀
教科書	数研出版「改訂版 新編 言語文化」		副教材	いづな書店「key&pointみるみる覚える古文単語300+敬語30」数研出版「読解をたいせつにする体系古文文法」及び「準拠ノート」啓隆社「新国語総合ガイド」		
授業のねらい	・社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、言語文化に対する理解を深める。					
習上の留意点	・言語や文化の固有性を正しく認識し、大切に守っていく態度を待つこと。 ・授業への取り組みや提出物など、学習に臨む姿勢を高める意識を持つこと。					
評価方法	定期考査を中心として小テストや提出物を踏まえて総合的に評価をする。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元	学習目標			
1 学 期	期末	漢文の基礎 格言 「虎の威を借る」「漁夫の利」 小説「羅生門」	<ul style="list-style-type: none"> ・訓読の基本を理解し、書き下し文のきまりを身に付ける。 ・日本に根付いている言葉に対する理解を深める。 ・舞台設定を読み取り、登場人物の特徴を把握する。 ・文章の構成や展開を把握し、心情の変化を読み取る。 ・下人の心理の変化に着目した上で作品の主題を考察する。 			
		古文「児のそら寝」(宇治拾遺物語) 漢詩「江雪」「涼州詞」 「送元二使安西」	<ul style="list-style-type: none"> ・古文を読むための基礎知識を習得する。 ・用言や助動詞の活用について理解する。 ・漢詩の音韻を味わい、表現の豊かさに触れる。 漢文特有の句法を理解して作品を鑑賞する。 			
2 学 期	中間					
	期末	古文「芥川」「筒井筒」(伊勢物語)	<ul style="list-style-type: none"> ・歌物語の特徴と『伊勢物語』について理解する。 ・在原業平の人物像について本文を踏まえて理解する。 ・単語や文法に注意して的確に読み取り、現代語訳を行う。 			
3 学 期	学年末	古文「木曾の最期」	<ul style="list-style-type: none"> ・音読を通して古文に慣れ、人物の行動や心情を理解する。 ・音便・敬語・係り結び・助動詞の活用を理解する。 ・単語や文法に注意して的確に読み取り、現代語訳を行う。 			
		※適宜 iPadを活用(通年)				

2026年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
2年生 特進コースI&Sクラス		国語	論理国語	必修	3単位	渡邊 智之
教科書	大修館書店「論理国語」		副教材等	浜島書店「新訂版 常用国語便覧」いっずな書店「大学入試国語頻出問題1200 五訂版」		
授業のねらい	・「現代が抱えるテーマと問題」が提示された文章を読解し、その問いに向き合い、考える。・演習形式の授業を通して問題を解くことに慣れ、入試に対応できる力を養う。					
学習上の留意点	・主体的に読解し、テーマや問題に対する答えを考える。・漢字や語句の意味などの基本的な事柄については、繰り返しの学習で定着させる。					
評価方法	定期考査や授業内テストを中心とし、小テストや提出物などから総合的に評価する。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	期末	世界・言葉・私 「対話の精神」 芸術と文化 「ミロのヴィーナス」「余白の美学」	・筆者の主張から、現代が抱えるテーマや問題について考える。			
		共同体のいま 「コミュニティから見た日本」 科学の可能性 「科学は生きている」	・自ら思考したことや意見について、適切に表現する。 ・副教材などを用いて、演習を行う。			
2 学 期	中間	日本語の多様性 「『方言コスプレ』現象」 思考の枠組み 「スキーマと記憶」	・筆者の主張から、現代が抱えるテーマや問題について考える。 ・自ら思考したことや意見について、適切に表現する。 ・副教材などを用いて、演習を行う。			
	期末	「絵を見る技術」 社会の原点 「分かち合う社会」	・模試の対策を行う。 ・漢字や語彙を習得する。 ・冬期休業中の課題あり ※上記は学期や年度を通して行う。			
3 学 期	学年末	グローバル化の先へ 「世界は、いま—『多文化世界』の構築」 「グローバリゼーションと文化」 ※適宜 iPadを活用(通年)	※1・2学期と同様 ※年度を通じて、多読を実践する。また、テーマや問いに対する意見や思考内容を明文化する。			

2026年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
2年生 特進コースI&Sクラス(選択者)		国語	古典探究	必修選択	2単位	渡邊 智之
教科書	数研出版「高等学校 古典探究」		副教材等	いづな書店「みるみる覚える古文単語300+敬語30 三訂版」啓隆社「新修古典文法 二訂版」浜島書店「読み解く古文2」		
授業のねらい	・古典としての古文と漢文を読解する能力を養う。・古典に親しむことで、ものの見方や考え方を広げる。・日本文化について、古代と現代とのつながりを考える(古典常識も含む)。					
学習上の留意点	・主体的に読解し、テーマや問題に対する答えを考える。・漢字や語句の意味などの基本的な事柄については、繰り返しの学習で定着させる。					
評価方法	定期考査や授業内テストを中心とし、小テストや提出物などから総合的に評価する。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	期末	古文「大江山」(十訓抄)		・説話を読み、古文のおもしろさに触れる。		
		古文「初冠」「渚の院」 (伊勢物語)		・歌物語を通し、その時代背景や和歌の技法を理解しながらその鑑賞につなげる。		
1 学 期	期末	古文「鳥飼の院」(大和物語)		・文法事項(助動詞など)の知識の定着を目指す。		
		古典文法(敬語など)				
		漢文「漱石枕流」(世説新語)		・漢文に親しみ、基本的な句形を学ぶ。		
		漢文「画竜点睛」(歴代名画記)				
2 学 期	中間	古文「光源氏誕生」「小柴垣のもと」 (源氏物語)		・古典文学の最高傑作に触れ、その味わいを楽しむ。 ・時代背景や人物関係をとらえたうえで人の心の機微を読む。 ・助動詞や敬語の理解を深める。		
		漢詩		・漢詩の形式や押韻の決まりを知る。		
2 学 期	期末	古文「天納言殿参り給ひて」 (枕草子)		・古文の知識を活用して、自身で読み解く。		
		古文「三船の才」「南院の競射」 (大鏡)				
3 学 期	学年末	古文「花は盛りに」(徒然草)		・二種の文章を比べ読み、その味わいを知る。		
		古文「兼好法師が詞のあげつらひ」 (玉勝間)		・文法事項や古文常識の定着をはかる。		
3 学 期	学年末	漢文「四面楚歌」(史記)		・句形や前置詞の確認をしながら内容を理解する。		
		※適宜 iPadを活用(通年)				

2026年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
2年生 進学コースAクラス		国語	論理国語	必修	2単位	藤井千栄子, 佐藤祐紀 久次宏太郎
教科書	大修館書店「論理国語」		副教材等	いっずな書店「意味で覚えて漢字を知る 漢トレ 漢字検定⑤級～②級」 浜島 書店「新訂版 常用国語便覧」		
授業のねらい	・教材を通して、筆者の主張を正確に読み取る「内容把握」のほか、より論理的に文章を考察したり、テーマに関する「問い」について自ら考え、表現したりする。「読むこと」と「書くこと」を往還しながら、自分の考えを深める。					
学習上の留意点	・言語知識を増やすとともに、各テーマにおける問いを自分ごととして捉え考え、表現する。授業への取り組みは主体的なものでなくてはならない。					
評価方法	定期考査や授業内テストを中心とし、小テストや提出物を踏まえて総合的に評価をする。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	期末	「世界を広げる「批評」の言葉」 「対話の精神」		・対比や比喻による表現を手掛かりに、論の展開をとらえる。 ・現代日本における問題について自分の考えを持つ。		
		「ミロのヴィーナス」 「家族化するペット」		・文化や美意識について自分の考えを持つ。 ・統計資料や事例と筆者の主張の関係をとらえる。		
2 学 期	中間	「自己をモデル化する知能」 「人口知能の可能性と畏」 自分の立場を明確にして意見を述べる		・論理の展開や具体例をもとに、筆者の主張をとらえる。 ・科学技術の進歩と人間にかかわりについて考える。 ・賛否などの立場を明確にし、その根拠を示す。		
	期末	「敬語への自覚、他者への自覚」 「デジタル地図から見える世界」 情報を集めて分類する		・論理の展開や対比をもとに、筆者の主張をとらえる。 ・言葉と社会の関係や社会の喧嘩について、考えを深める。 ・情報源を適切に記録し、集めた情報を整理・分類する。		
3 学 期	学年末	「社会的実在としての言語・法・貨幣」 「分かち合う社会」 「世界は、いま」 「グローバリゼーション文化」 意見を交流する ※適宜 iPadを活用(通年)		・具体的エピソード、学説の紹介の意図を理解し、論の展開 を手がかりに、筆者の主張を読み取る。 ・小見出しごとの要旨を理解したり、具体例や対比を的確に とらえたりしながら、筆者の主張をつかむ。 ・社会のさまざまな事柄に対する考えを表現し、 他者との交流(意見交換、指摘)を通して、掘り下げる。		

2026年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
2年生 進学コースAクラス		国語	国語演習	必修	2単位	此木淳一, 木下晴 相田高宏
教科書	特になし		副教材等	駿台文庫「現代文100字要約ドリル基礎編 第3版」 浜島書店「読み解く古文1」		
授業のねらい	<ul style="list-style-type: none"> 文章を正確に読み取り、要約できる力を養う。 言語文化で身に付けた読解力を発展させて言語表現能力を高める。 					
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> 広く文章に触れ、語彙力を高めること。 課題の期限を厳守すること。 					
評価方法	文章の要約・小テストや提出物を踏まえ、授業内テストを中心に総合的に評価をする。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	期末	「鴻門の会(史記)」(司馬遷)		中国の歴史書に触れながら、東アジア全体に及ぼした影響について考える。		
		基礎的な語彙の習得 原稿用紙の使い方 文章の要約		縦書きを基本としながらも横書きも習得する。 20字～50字程度の要約文を作成する。		
2 学 期	中間	「こころ」(夏目漱石)		日本を代表する文学作品に触れながら日本人の精神世界を理解する。		
	期末	文章の要約		100字程度の要約文を作成する。		
3 学 期	学年末	「若紫(源氏物語)」 意見文を書く ※適宜 iPadを活用(通年)		敬語に注意しながら正確に読解し、古典の世界を味わう。 再読文字や句形に注意して読解する。 素材文を読み、要約文を完成させた上で意見文を書く。		

2026年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 特進コースI&Sクラス(1クラス)		国語	論理国語	必修	3単位	川口ひろみ
教科書	大修館書店「論理国語」		副教材等	浜島書店「論読現代文3」 いいずな書店「大学入試国語頻出問題1200 四訂版」 浜島書店「新訂版 常用国語便覧」		
授業のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・評論では、筆者の主張や文章の構成を理解する。 ・語彙力の強化や知識事項の理解も深めながら入試に通用する実戦力を高める。 					
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な事柄(漢字・語彙)については、繰り返し学習して定着を図る。 ・演習問題は、家庭学習などで事前に取り組んだ上で授業に参加する。 					
評価方法	定期考査や授業内テストを中心とし、小テストや提出物を踏まえて総合的に評価をする。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	評論「贈り物」としてのノブレス・オブリージュ 評論「消費されるスポーツ」 評論「共感覚と比喻」		<ul style="list-style-type: none"> ・筆者のものの見方・考え方・感じ方を深くとらえ、味わう。 ・論旨を捉え、要約する。 ※通年で、模擬試験や入学試験の対策をしていく。 		
	期末	評論「猫は後悔するか」 評論「『である』ことと『する』こと」 問題演習(模試・入試)		<ul style="list-style-type: none"> ・筆者のものの見方・考え方・感じ方を深くとらえ、味わう。 ・論旨を捉え、要約する。 		
2 学 期	期末	評論「生物多様性の恩恵」 評論「言語と他者」 問題演習(記述・マーク)		<ul style="list-style-type: none"> ・筆者のものの見方・考え方・感じ方を深くとらえ、味わう。 ・論旨を捉え、要約する。 ・問題演習を重ね、迅速な文章理解のできる力を養う。 		
		評論「リスク社会としての現代」 問題演習(記述・マーク)		<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の、ものの見方・考え方・感じ方を深くとらえ、味わう。 ・論旨を捉え、要約する。 ・問題演習を重ね、入試に必要な力を身につける。 		
3 学 期						

2026年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 特進コースI&Sクラス(1クラス)		国語	国語表現	必修	2単位	川口 ひろみ
教科書	大修館書店「国語表現」		副教材等	特になし(適宜プリント等を使用)		
授業のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高める ・思考力や想像力を伸ばし、言語感覚の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。 					
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・課題は期限内に必ず提出すること。 					
評価方法	定期考査や授業内テストを中心とし、小テストや提出物などから総合的に評価する。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	書いて伝える 小論文・レポート入門		<ul style="list-style-type: none"> ・自己表現の手段として、正しい言葉遣いや文法事項を学ぶ。 ・小論文やレポートの形式を学び、論理的な構成によって読み手が理解しやすい文章を作成する。 		
	期末	自己PRと面接 メディアを駆使する		<ul style="list-style-type: none"> ・大学入試を意識し、志望理由書や面接の対策となる自己分析を行う。また、それをもとに面接を行う。 ・大学入試における情報収集やインターネット出願を踏まえ、PCなどのメディアを活用する。 		
2 学 期	期末	声とコミュニケーション		<ul style="list-style-type: none"> ・1学期に行った自己分析をもとに、発声の仕方や抑揚などを学ぶことで、自己表現に慣れる。 		
		会話・議論・発表 表現を楽しむ 文章表現 ※適宜 iPadを活用(通年)		<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決能力を向上させるとともに、スピーチ能力の向上も図る。 ・言葉や詩歌の面白さを知り、豊かな表現力を身につける。 ・自己の考えを的確にかつ説得力をもって相手に伝えることのできる力を身につける。 		
3 学 期				<ul style="list-style-type: none"> ※1クラスなので、適宜英語を用いた活動も織り交ぜる。 ※通年で語彙力の向上を図っていく。 		

2026年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 特進コースI&Sクラス(1クラス)		国語	国語演習	必修	2単位	植木智
教科書	特になし		副教材等	いいずな書店「大学入試国語頻出問題1200四訂版」		
授業のねらい		・問題演習を重ね、限られた時間の中で正答を導き出す。				
学習上の留意点		・基本的な事柄(漢字・語彙・単語・文法)については、繰り返し学習して定着を図る。				
評価方法		定期考査や授業内テストを中心とし、小テストや提出物などから総合的に評価する。				
観点別評価		以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。				
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	評論(論理的文章)	小説(文学的文章)	・共通テストや私大入試問題を意識した演習を行う。		
				・筆者の主張や文章の構成を理解する。		
				・登場人物の心情や思想を理解する。		
				・漢字や語彙の定着を図る。		
	期末	古文	漢文	・単語や文法事項(助動詞・敬語・識別)を押さえる。		
					・人物像を読み取り、行動や心情を考える。	
				・文法事項(再読文字・句形)を理解し、文章の内容を読み取る。		
2 学 期	期末	評論(論理的文章)	小説(文学的文章)	・上記の内容を、学期・年間を通じて演習する。		
					・模試の過去問(現代文)を中心に扱う。	
		古文	漢文	・入試の過去問(古文)を中心に扱う。		
		漢文			・入試の過去問(漢文)を中心に扱う。	
3 学 期						

2026年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 特進コースI&Sクラス(S文系)		国語	論理国語	必修	4単位	川口ひろみ
教科書	大修館書店「論理国語」		副教材等	浜島書店「論読現代文3」 いっずな書店「国語頻出問題1200 四訂版」		
授業のねらい	・評論では、筆者の主張や文章の構成を理解する。・小説では、登場人物の心情や思想を読み解く。・以上に加え、語彙力の強化や知識事項の理解も深めながら入試に通用する実戦力を高める。					
学習上の留意点	・基本的な事柄(漢字・語彙)については、繰り返し学習して定着を図る。 ・演習問題は、家庭学習などで事前に取り組んだ上で授業に参加する。					
評価方法	定期考査や授業内テストを中心とし、小テストや提出物を踏まえて総合的に評価をする。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	評論「贈り物」としてのノブレス・オブリージュ 評論「ネットワーク上のコミュニケーション」		・作者のものの見方・考え方・感じ方をふまえ、自己と他者について考える。 ・論旨を捉え、要約する。 ※通年で、模擬試験や入学試験の対策をしていく。		
	期末	評論「猫は後悔するか」 評論「共感覚と比喻」 入試問題演習		・論理の展開を的確に読み取る。 ・言語感覚を豊かにし、日常言語の客観的分析力を養う。 ・入試実戦力を養う。記述力の養成。		
2 学 期	期末	評論「日常に走る亀裂」 評論「生物多様性の恩恵」 問題演習(記述・マーク)		・作者の、ものの見方・考え方・感じ方を深くとらえ、味わう。 ・具体例との関係に注意しながら筆者の主張をとらえる。 ・問題演習を重ね、迅速な文章理解のできる力を養う。		
		評論「言語と他者」 問題演習(記述・マーク)		・言語と世界・他者の関係について考えを深める。 ・論旨を捉え、要約する。 ・問題演習を重ね、入試に必要な力を身につける。		
3 学 期						

2026年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 特進コースI&Sクラス(S文系)		国語	古典探究	必修	3単位	川口ひろみ
教科書	数研出版「高等学校 古典探究」		副教材等	いいずな書店「key&pointみるみる覚える古文単語300+歌語30」 京都書房(啓隆社)「新修古典文法 二訂版」 いいずな書店「国語頻出問題1200 四訂版」		
授業のねらい	・古典作品には、現代の日本語とは異なる文法や語彙が多く使用されている。そのため、古文や漢文の文法・語彙の知識を活用し、文法や表現、言葉の意味や使い方を正確に理解することをねらいとする。					
学習上の留意点	・古典としての古文と漢文、古典に関連する文章を読むことによって、我が国の伝統と文化に対する理解を深め、生涯にわたって古典に親しむ態度を育てる。					
評価方法	定期考査や授業内テストを中心とし、小テストや提出物を踏まえて総合的に評価をする。					
観点別評価	定期考査や授業内テストを中心とし、小テストや提出物を踏まえて総合的に評価をする。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	古文「宮に初めて参りたるころ」(枕草子) 古文「鷹」(蜻蛉日記) 古文「鎌倉への出立」(十六夜日記)		・随筆や日記文学を通して、当時の日本人の生活のあり方や考えを知る。 ・和歌の鑑賞や敬語の知識の定着を目指す。 ※通年で、模擬試験や入学試験の対策をしていく。		
	期末	古文「紫の上の死」(源氏物語) 古文「清少納言と紫式部」(無名草子)		・家族のあり方や死を見つめ、生きることの価値を理解する。 ・源氏物語が後世の人にどう読まれたかを知り、日本人としてのアイデンティティについて考える。		
2 学 期	期末	漢文「長恨歌」(白氏文集) 漢文「石壕吏」(杜工部集) 入試問題演習 文学史		・『白氏文集』が古典文学に与えた影響について考える。 ・実戦力を身につける。		
3 学 期						

2026年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 特進コースI&Sクラス(S文系)		国語	国語演習	必修	2単位	川口ひろみ
教科書	特になし		副教材等	浜島書店「論読現代文3」 いいずな書店「大学入試国語頻出問題1200 四訂版」		
授業のねらい	・多くのジャンルにトライし、読解の方法を定着させ、限られた時間で問題を解く力を養成する					
学習上の留意点	・基本的な学習(漢字・語彙・文法)は日々行い、初めて見る文章に対応できるようにすること ・家庭学習で解答してきた状態で解説を行う場合は事前に課題を終えておくこと					
評価方法	授業内テストを中心に、提出物や発言などを踏まえて総合的に判断する。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	通年で演習(模試や入試) 評論(論理的文章)		・重要なワードからどのような趣旨の内容に結び付いてくるかを理解する。また、それらに付随した語句の理解を深め、文章の理解力及びスピードを高める。		
	期末	小説(文学的文章) 言語活動		・登場人物の発言や行動から、心情を理解できるようにする。また、韻文(短歌、俳句、詩)と本文との関連を理解する力を身につける。 ・グラフやポスター、新聞記事などと本文との関連を読み解く力を身につける。		
2 学 期	期末	評論(論理的文章)		・重要なワードからどのような趣旨の内容に結び付いてくるかを理解する。また、それらに付随した語句の理解を深め、文章の理解力及びスピードを高める。		
		小説(文学的文章) 言語活動		・登場人物の発言や行動から、心情を理解できるようにする。また、韻文(短歌、俳句、詩)と本文との関連を理解する力を身につける。 ・グラフやポスター、新聞記事などと本文との関連を読み解く力を身につける。		
3 学 期						

2026年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 特進コースI&Sクラス(S理系)		国語	論理国語	必修	2単位	渡邊智之
教科書	大修館書店「論理国語」		副教材等	浜島書店「論読現代文3」 いっずな書店「国語頻出問題1200 四訂版」		
授業のねらい	・評論では、筆者の主張や文章の構成を理解する。・小説では、登場人物の心情や思想を読み解く。・以上に加え、語彙力の強化や知識事項の理解も深めながら入試に通用する実戦力を高める。					
学習上の留意点	・基本的な事柄(漢字・語彙)については、繰り返し学習して定着を図る。 ・演習問題は、家庭学習などで事前に取り組んだ上で授業に参加する。					
評価方法	定期考査や授業内テストを中心とし、小テストや提出物を踏まえて総合的に評価をする。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	評論「贈り物」としてのノブレス・オブリージュ 評論「ネットワーク上のコミュニケーション」		・作者のものの見方・考え方・感じ方をふまえ、自己と他者について考える。 ・論旨を捉え、要約する。 ※通年で、模擬試験や入学試験の対策をしていく。		
	期末	評論「猫は後悔するか」 評論「共感覚と比喻」		・論理の展開を的確に読み取る。 ・言語感覚を豊かにし、日常言語の客観的分析力を養う。 ・横書きの形式に慣れる。		
2 学 期	期末	評論「生物多様性の恩恵」 問題演習(記述・マーク)		・筆者の、ものの見方・考え方・感じ方を深くとらえ、味わう。 ・具体例との関係に注意しながら筆者の主張をとらえる。 ・問題演習を重ね、迅速な文章理解のできる力を養う。		
		評論「言語と他者」 問題演習(共通テスト対策)		・言語と世界・他者の関係について考えを深める。 ・論旨を捉え、要約する。 ・問題演習を重ね、入試に必要な力を身につける。		
3 学 期						

2026年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 特進コースI&Sクラス(理系)		国語	国語演習	必修	2単位	小池功一郎
教科書	特になし		副教材等	浜島書店「論読現代文3」 いいずな書店「大学入試国語頻出問題1200 四訂版」		
授業のねらい	・多くのジャンルにトライし、読解の方法を定着させ、限られた時間で問題を解く力を養成する					
学習上の留意点	・基本的な学習(漢字・語彙・文法)は日々行い、初めて見る文章に対応できるようにすること ・家庭学習で解答してきた状態で解説を行う場合は事前に課題を終えておくこと					
評価方法	授業内テストを中心に、提出物や発言などを踏まえて総合的に判断する。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	通年で演習(模試や入試) 評論(論理的文章)		・重要なワードからどのような趣旨の内容に結び付いてくるかを理解する。また、それらに付随した語句の理解を深め、文章の理解力及びスピードを高める。		
	期末	小説(文学的文章) 言語活動		・登場人物の発言や行動から、心情を理解できるようにする。また、韻文(短歌、俳句、詩)と本文との関連を理解する力を身につける。 ・グラフやポスター、新聞記事などと本文との関連を読み解く力を身につける。		
2 学 期	期末	評論(論理的文章)		・重要なワードからどのような趣旨の内容に結び付いてくるかを理解する。また、それらに付随した語句の理解を深め、文章の理解力及びスピードを高める。		
		小説(文学的文章) 言語活動		・登場人物の発言や行動から、心情を理解できるようにする。また、韻文(短歌、俳句、詩)と本文との関連を理解する力を身につける。 ・グラフやポスター、新聞記事などと本文との関連を読み解く力を身につける。		
3 学 期						

2026年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 進学コースAクラス		国語	論理国語	必修	4単位	植木智, 相田高宏 太田厚志
教科書	大修館書店「論理国語」		副教材等	浜島書店「新訂版 常用国語便覧」 桐原書店「書いて覚えて実践する高校生の語彙と漢字(ゴイカン)」		
授業のねらい	<ul style="list-style-type: none"> 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 ICTを駆使した予習・授業・復習の循環の中で、自己を確立させる。 					
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> 言語知識を増やすとともに、各テーマにおける問いを自分事として捉え考え、表現する。 授業への取り組みは主体的なものでなくてはならない。 					
評価方法	定期考査や授業内テストを中心とし、小テストや提出物を踏まえて総合的に評価をする。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	「贈り物」としてのノブレス・オブリュージュ 「ネットワーク上のコミュニケーション」		<ul style="list-style-type: none"> 作者のものの見方・考え方・感じ方をふまえ、自己と他者について考える。 対面と文面のみでのコミュニケーションの違いによる諸問題を理解する。 非言語情報から伝達される情報への理解を深める。 		
	期末	「ポスト真実時代のジャーナリズムの役割」 「人を指す言葉——自称詞・対称詞・他称詞」		<ul style="list-style-type: none"> 根拠のある論理と感情論の違いを明確化する。 欧米と日本の人称代名詞の違いから、関係性の捉え方の違いを理解する。 		
2 学 期	期末	「多数決を疑う」 「日常に走る亀裂」 「生物多様性の恩恵」		<ul style="list-style-type: none"> 情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深めさせる。 作者の、ものの見方・考え方・感じ方を深くとらえ、味わう。 具体例との関係に注意しながら筆者の主張をとらえる。 		
		「地球システムの中の人間」		<ul style="list-style-type: none"> 人間の生物学的歴史と文明の歴史を学び、そこから人間存在そのものを理解する。 		
3 学 期						

2026年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 進学コースAクラス理系		国語	論理国語	必修	3単位	小池功一郎 藤井千栄子
教科書	大修館書店「論理国語」		副教材等	浜島書店「新訂版 常用国語便覧」 桐原書店「書いて覚えて実践する高校生の語彙と漢字(ゴイカン)」		
授業のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・評論文の論理的読解を通して、思考力向上を第一の目的とする。また他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを効果的に伝えられるような訓練の場を設ける。 ・ICTを積極的に駆使しながら授業展開、家庭学習を効果的に進めるようにする。 					
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・言語知識を増やすとともに、各テーマにおける問いを自分事として捉え考え、表現する。 ・授業への取り組みは主体的なものでなくてはならない。 					
評価方法	定期考査や授業内テストを中心とし、小テストや提出物を踏まえて総合的に評価をする。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	「ネットワーク上のコミュニケーション」		<ul style="list-style-type: none"> ・対面と文面のみでのコミュニケーションの違いによる諸問題を理解させる。 ・非言語情報から伝達される情報への理解を深める。 		
	期末	「ポスト真実時代のジャーナリズムの役割」 「生物多様性の恩恵」		<ul style="list-style-type: none"> ・根拠のある論理と感情論の違いを明確化させる。 ・生物学に関する文章を読解しながら、科学的な知見を養う。 		
2 学 期	期末	「多数決を疑う」 「日常に走る亀裂」 「地球システムの中の人間」		<ul style="list-style-type: none"> ・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深めさせる。 ・人間の生物学的歴史と文明の歴史を学び、そこから人間存在そのものを理解させる。 		
3 学 期						

2026年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 進学コースAクラス(文系のみ)		国語	古典探究	必修	2単位	武井智巳 相田高宏
教科書	数研出版「高等学校 古典探究」		副教材等	いいずな書店「key&Pointみるみる覚える古文単語300+敬語30 四訂版」京都書房(啓隆社)「新修古典文法 二訂版」浜島書店「新訂版 常用国語便覧」		
授業のねらい	古典作品には、現代の日本語とは異なる文法や語彙が多く使用されている。そのため、古文や漢文の文法・語彙の知識を活用し、文法や表現、言葉の意味や使い方を正確に理解することをねらいとする。					
学習上の留意点	授業用ノートをしっかり作成し、復習に重点を置き知識の定着を図ること。					
評価方法	授業用ノートをしっかり作成し、復習に重点を置き知識の定着を図ること。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	古文「二月つごもりごろに」(枕草子)	古文「父の離京」(蜻蛉日記)	<ul style="list-style-type: none"> 古文文法や語彙を確認し、さらに学習する。 単語や文法事項に注意して、正確に読み取り、現代語訳を行う。 作者の心情について、和歌の内容や文章中の表現をふまえて理解する。 		
	期末	古文「水鳥の足」(紫式部日記)	古文「同僚女房評」(紫式部日記)	<ul style="list-style-type: none"> 敬語、助動詞、助詞について学ぶ。 作品中の文法や表現、言葉の意味や使い方を解釈し、全体像をつかみとる 作者の紫式部と作品中に出てくる有名な古典文学の作者について理解を深める 		
2 学 期	期末	古文「薫る香に」(和泉式部日記)	古文「鎌倉への出立」(十六夜日記)	<ul style="list-style-type: none"> 平安時代の代表的な女流日記文学を読み味わい、その特色を理解する。 自身の日記を三人称で書く理由について整理させる。 本文の表現から作品の特徴を捉える。 		
		古文「車争ひ」(源氏物語)		<ul style="list-style-type: none"> 六条御息所の心情を、その立場や周囲の状況を考え合わせて理解する。 当時の習俗や文化的環境について理解を深める。 		
		漢文「鴻門之会」(史記)		<ul style="list-style-type: none"> 漢文句法の確認、習得。 自ら書き下し文や現代語訳の作成を行い、文章の内容を的確に読み取る。 		
3 学 期						

2026年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 進学コースAクラス		国語	国語演習	必修	3単位	鬼嶋知見 佐藤祐紀 太田厚志
教科書	特になし		副教材等	浜島書店「LT現代文3」第一学習社「小論文頻出テーマ解説集 現代を知るPlus2026」及び「小論文頻出テーマ チェック&ワーク」		
授業のねらい		・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。				
学習上の留意点		・自分の考えを明確に持つこと。添削のため、課題の期限は厳守すること。				
評価方法		・授業内テストを中心とし、小テストや提出物を踏まえて総合的に評価をする。				
観点別評価		以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。				
学習計画	考査	単元	学習目標			
1 学 期	中間	「LT現代文3」大問1～5 エントリーシート の作成	・論理的に考える力を伸ばし、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 ・問題文に対して正しく解答する方法を学び、文章で示すことができるようにする。			
	期末	「LT現代文3」大問6～10 小論文テーマ解説・文章作成	・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けることができるようにする。			
2 学 期	期末	「LT現代文3」大問11～15 小論文・文章作成	・自分の主張の合理性が 伝わるよう、適切な根拠を効果的に用いるとともに、相手の反論を想定して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫させる。 ・大学の志望理由や高校生活などについて、他者に正確に伝わるように文章を書いたり、スピーチをしたりすることができるようにする。			
		「LT現代文3」大問16～20	・読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直ししたりすることができるようにする。□ □ □			
3 学 期						

2026年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 進学コースAクラス		国語	国語探究(文化)	必修	2単位	武井智巳
教科書	特になし		副教材等	特になし		
授業のねらい	・異文化理解と日本文化を比較、探究することによって国際的な知見を広める。					
学習上の留意点	・インプットだけでなく、考えたことや学んだことをアウトプットするため課題の提出は厳守すること。					
評価方法	レポート、プレゼンテーション資料および発表、平常点で評価する。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	北欧・ヨーロッパ地域の学習		・税制や福祉の面で日本と似ている国があるものの、地続きの地域が島国である日本とどのような違いがあるのかを学ぶ。		
	期末	アフリカ・中東地域の学習		・伝統文化や地域の部族、宗教や宗派など日本があまり介入することが無い地域の文化を学び、日本との違いを学ぶ。		
2 学 期	期末	南北アメリカ大陸の学習		・日本と戦争のあったアメリカ、修学旅行で訪れたカナダ。オリンピックの開催されたブラジルと特色ある国々の価値観と日本の違いを学ぶ。		
		アジア地域の学習		・現在緊張状態にあるアジア地域の国々と日本の視点はどこでズレ、対立してしまっているのか。両方の視点を学ぶことでアジア各国の「日本観」を学ぶ。		
3 学 期						

2026年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 進学コースAクラス		国語	国語探究(言語・文学)	選択	2単位	藤井千栄子
教科書	特になし		副教材等	特になし		
授業のねらい	・古代から現代に至るまでの文学作品の研究や作者がその作品を描いた時代背景などの文学的探究や、方言や言葉の使われ方の時代的変遷を辿るなどの言語学的探究を行うことで国語への興味・関心を深める。					
学習上の留意点	・自ら問いを立て、検証し、答えにたどり着くことが重要なので、主体性を持って取り組むこと。他者の発表を聞くなどの機会もあるため、協働性も持つこと。					
評価方法	レポート、プレゼンテーション資料および発表、平常点で評価する。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	古代日本文学・言語の学習		・資料の読み取り方を学ぶ。また、得られた情報の真偽の見定め方についても学ぶ。 ・自ら研究したものを他者にわかりやすく説明する方法を学ぶ。		
	期末	現代日本文学・言語の学習		・前期で学んだ古代との違いを学ぶ。 ・現代日本文学・日本語の特徴から現代日本の社会情勢や思想を紐解き、問題点を探る。		
2 学 期	期末	古代詩歌の学習		・掛詞や枕詞の生まれた背景を探ることで三十一文字にどのような思いを込めていたかを学ぶ。		
		現代詩歌の学習		・古代との繋がりがりや違いを比較することで、現代詩歌にどのような思いが込められているかを学ぶ。		
3 学 期						